

「議員定数削減」条例を提案

～ 残念ながら、賛成少数により否決される ～



平成30年12月6日(木)、有志議員とともに、「杉並区議会議員定数条例の一部を改正する条例」を議員提出議案として提案しました。
内容としては、**議員定数を48人から46人に、2人削減**するというもの。
しかし、残念ながら、賛成議員は私達提出者を含めて7人にとどまり、否決されました。

参考ながら、過去の議員定数削減の経緯は、下記の通りです。

32年前の昭和61年・・・定数56人→52人に、4人減

16年前の平成14年・・・定数52人→48人に、4人減

<議員定数削減の、主な提案理由>

社会情勢の変化	I C T の発展・普及に伴い、議案の賛否決定や政策提言に向けた調査等 情報収集・情報伝達手段が格段に多様化・効率化し、より少ない議員数で多くの区民意見を把握することが可能 となっている。
他自治体との比較	人口69万人強の江戸川区の議員定数は 44人 。人口68万人強の足立区の議員定数は 45人 。 杉並区は、人口57万人弱に対し、議員定数は48人。 政令指定都市である相模原市・浜松市・岡山市の議員定数は 46人 。
在職議員数の実績	議員定数48人となって以降(平成15年5月～)、在職議員数が48人であった期間は約45%。 つまり、欠員状態が過半数の期間を占める。 また、 在職議員数46人以下の期間が、37%強 を占める。
議会内での議論の欠如	前回改選期前の平成26年12月、「議員定数問題について、改選後の議会(平成27年5月～)において検討していく」ことが議会運営委員会で確認されておりながら、 議論が全くなされていない 。

次回の定例区議会(平成31年第1回定例会)は、2月12日(火)開会予定です。

区政に関する 意見交換会 開催 (入場無料)

意見交換会の内容

□ 平成31年度 杉並区予算(案) について

平成31年第1回定例区議会(2月～3月)は、平成31年度杉並区予算(案)の審議が中心になります。

予算委員会の前に、**①平成31年度杉並区予算(案) ②これからの区政に何が必要か** について、皆様のご意見をお伺いしたいと思っております。

任期中最後の意見交換会となる予定ですので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

ぜひご参加
ください。



区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。

FAX: 03-3247-8660 もしくは E-Mail: ikuma@gakushikai.jp



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告

第61号(平成31年新年号)

発行: 岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103

TEL/FAX: 03-3247-8660 E-Mail: ikuma@gakushikai.jp

HP: http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴: 昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。
外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。
平成27年5月より4期目。

趣味: バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。

家族: 妻、長男(15歳)、長女(13歳)、次男(11歳)。

目次

P.1 一般質問抜粋(教育について)

P.3 調査活動や地域での活動について

P.2 一般質問抜粋(まちづくり(富士見ヶ丘駅周辺)について)

P.4 **議員定数削減条例の提出**について

P.4 意見交換会のご案内

「これからの学校教育」はどうあるべきか

～ 地域での活動を踏まえ、議会で質問 ～

(質問に至った理由)



区議会議員となって以来、地域の大人のひとり(及び、PTAの一員)として、「**運動会向け授業のゲストティーチャー**」「**学校での宿泊震災訓練**」「**小学校での放課後子ども教室の立ち上げ・運営**」「**本の読み聞かせ**」等に携わり^{(*)1}、子供達、そして学校に関わってきました。

これらの経験も踏まえ、私自身は、子供達の教育に必要なことは、「知識等の取得」とあわせ、「**努力する力を育む**」「**多様な人材と交わり、様々な経験をする**」ことだと考えております。

区議としての現任期満了が迫るなか、今期の活動のまとめとして、「杉並区における今後の学校教育」について、11月19日(月)に本会議場で一般質問を行いました。以下、その一部を抜粋します。

(*)1) P. 3の記事も参照ください。

(岩田いくまの質問)

平成30年10月21日(日)、新宿にて教育系メディア主催のシンポジウム「公教育のシガラミを越えて」^{(*)2}が開催され、私も聴講した。その場でも話題となったように、今後の学校教育においては、子供達の**非認知スキル**^{(*)3}を高めることが大切だと考えるが、教育委員会の考えを問う。

(*)2) 杉並区の井出教育長もパネリストとして登壇。

(*)3) 点数化ができる知識等ではなく、**点数化が出来ない「忍耐力」「目標への情熱」「社会性」「自尊心」等**。

(区の答弁)

◆ 先端技術の発展が目覚ましい時代に必要な力は、知識・技能等に加えて、「他者や社会との協働」「未知の世界に挑戦する好奇心」「主体的に学びに向かう力」等と考える。

◆ 教育委員会としては、地域との連携や計画的なICT(情報通信技術)環境の整備等を一層推進するとともに、子供達の主体的で対話的な学びの実現に向けた取組を着実に進めていく。

(岩田いくまの見解)



目指している方向は、教育委員会も同じであることが確認できました。**今後は、具体的な施策がこの方向性に合致しているかどうか、しっかりとチェックしていきたい**と思います。なお、上記の他、「地域人材の、学校へのさらなる関与・組織化に向けた今後の取組」「教育分野における、産学官連携に対する今後の方針」等についても質問しました。



「まちづくり」の進め方

～ 富士見ヶ丘駅周辺まちづくりについて、議会で質問 ～

（質問に至った理由）



「まちづくり」はその地域に生活する全ての人に関係することであり、丁寧なプロセスを踏むことが、住民の同意や納得を得るためには重要です。このたび、「**杉並区実行計画（平成31年度～33年度）**」において、「**富士見ヶ丘駅周辺まちづくり**」が**新たな事業として取り上げられた**のを踏まえ、11月19日（月）に本会議場で一般質問を行いました。以下、その一部を抜粋します。

* 一般質問の様子は、P. 1の内容も含め、杉並区議会公式ホームページの本会議録画放映（下記）でご覧いただけます。

http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video_Search.asp



（岩田いくまの質問①）

新たな「杉並区実行計画（平成31年度～33年度）」に「富士見ヶ丘駅周辺まちづくり（平成32年度に「**まちづくり方針策定**」）」が盛り込まれたが、なぜか。

（区の答弁）

都市計画高井戸公園や富士見丘小・中学校の整備等、まちづくりの契機となる動きを踏まえ、まちの将来像を地域の方々と共有し、今後の当該地域のまちづくりを具体的に進めるため。

（岩田いくまの質問②）

「富士見丘小学校・富士見丘中学校改築基本計画」の策定（平成30年12月）を受け、**改築検討懇談会**^{（*1）}の今後の役割は何か。

（*1）**両校に関わる学校関係者（学校長・PTA・学校支援本部等）や町会・自治会・商店会関係者、学識経験者等で構成。**私自身は、平成30年に行われた改築検討懇談会（全7回）のうち、議論が本格化する第3回以降、臨時議会と重なった第5回を除いて全て傍聴し、また、11月4日及び6日に行われた「**中間まとめ**」についての**地域説明会**にも出席しております。

（区の答弁）

平成31年度は、基本設計についてご意見をいただき、より良い学校づくりにご協力いただくこととしている。

（岩田いくまの質問③）

多くの区民の反対があったにもかかわらず、廃止を表明してからわずか2ヶ月半後の平成28年8月に、久我山東原公園の北側部分を廃止した^{（*2）}。**議会で「代替場所を確保する」旨の答弁を区はしていたが、未だ確保されていない。**一体どうなっているのか。

（*2）**私自身は、公園廃止の補正予算に反対しました。**

（区の答弁）

今後も引き続き粘り強く用地確保に向けた取組を進めていく。

（岩田いくまの見解）



まちづくりを進めるにあたっては、質問②「学校改築」のように、「地域の関係者を集めた懇談会の設置」「計画策定前の地域説明会開催」等、丁寧なプロセスを踏むことが必要です。しかしながら、質問③「公園廃止」のように、強引なプロセスかつ二年以上経過しても約束未達成という、悪しき“実績”もあります。**まちづくりにおいて丁寧なプロセスを踏んでいるか今後ともしっかりチェック**していくとともに、**約束を反故にすることのないよう、継続的なチェック**も行っていきたいと思ひます。

なお、上記の他、下記等についても質問しました。

富士見丘通りの整備方針	富士見丘小・中学校合同での防災への取組
都市計画高井戸公園	杉並区版震災救援所運営ゲーム
放射第5号線及び周辺地区まちづくり	今後の改築対象校（杉並第二小学校及び中瀬中学校）
富士見丘小学校の跡地活用	での検討の進め方

震災救援所訓練

11月3日（土・祝）、**私自身も運営連絡会会員を務める震災救援所（区立小学校）で実施された訓練に参加**しました。

今回は、運営連絡会会員で、HUG（避難所運営ゲーム）を実施。私自身は2ヶ月前に体験していたこともあり、カードの読み上げ係を務めました。



なお、当日の様子は、読売新聞朝刊（11月22日）にも掲載されました。



今年度から、所属**町会にて防災部門を担当**することになりました。これまでも、小学校のPTA活動等で防災関連の地域活動に関わってまいりましたが、今後は**より多様な立場で地域防災に関わり、現場での気付きを区政に反映**してまいりたいと思ひます。なお、上記の他、12月1日（土）に他の震災救援所（区立中学校）で行われた訓練にも参加しました。

プログラミング教室

11月6日（火）、小学校放課後子ども教室にて、**私が講師となって「初めてのプログラミング教室」を実施**しました^{（*1）}。

昨年度に引き続いての実施ですが、今年も20人の児童が参加してくれました。

（*1）平成28年3月に、NPO主催の「指導者研修講座」を受講しております。



多くの今の子供達にとって、ICT機器は身近なものであり、時として大人が驚かされるくらいの適応力を示す場面も見られます。

子供達が適切に情報技術を活用し、また、論理的な考え方を身に付けることが出来るよう、**自ら出来る現場での実践を通して、区政にも反映**していきたいと思ひます。

委員会視察

10月31日（水）～11月2日（金）、**文教委員会の一員として、視察**を行いました。

訪問都市	視察テーマ
飛騨市	ジュニアパラメディックプロジェクト（児童・生徒を対象に、主に心肺蘇生法の習得を目的とした育成プロジェクト）について
岡崎市	図書館交流プラザ「りぶら」について
大津市	いじめ防止対策について



大津市では、「いじめ対策担当教員の専任化」や、「統計によるいじめ事案の分析（大学との連携事業）」についてお伺いし

ました。

杉並区でも有効な施策は何か、常に念頭に置きながら、視察にのぞんでいきたいと思ひます。



読み聞かせ

12月14日（金）、**区立小学校にて「読み聞かせ」**を行いました。

今回の担当は5年生。本は、『すごいね！みんなの通学路』（右下写真）という、写真絵本を使用しました。また、読み聞かせが終わった後、**世界地図を利用**して、**写真が掲載されていた国の場所を、子供達と確認**しました（世界地図は、担任の先生にお願いして教室内スクリーンに映写していただきました）。



どのような本を読むか、毎回頭を悩ませますが、子供達の様子を知ることができる貴重な機会となっています。**「子供達が自然と本に親しむ環境づくり」に直接関わりながら、施策の提言に活かしていきたい**と思ひます。